



# 年男・年女 辰年生まれば、74,000人

—令和6年 新年にちなんで— (香川県人口移動調査による推計)

## <トピック>

- 辰年生まれば74,000人 干支別人口では第10位
- 辰年生まれでは昭和51年生まれ(48歳)が最も多い

### 辰年生まれば74,000人 干支別人口では第10位

令和6年1月1日現在の干支別人口を推計すると、辰年生まれば74,000人で、香川県の同日現在の推計人口924,200人に占める割合は8.0%となっています。

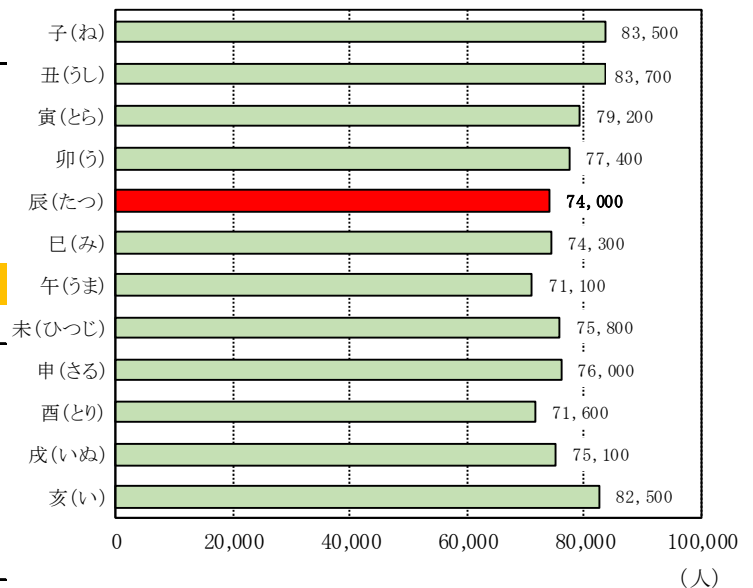
香川県の総人口を十二支別にみると、丑年生まれ(83,700人)が最も多く、次いで、子年生まれ(83,500人)、亥年生まれ(82,500人)などとなっており、第1次ベビーブーム(昭和22年~24年)世代や第2次ベビーブーム(昭和46年~49年)世代が含まれるこれらの干支が上位を占めています。

(表1, 図1)

表1 十二支別人口

十二支別	人口 (人)	総人口に 占める割合	人口 順位
総 数	924,200	100.0 %	
子 (ね)	83,500	9.0	2
丑 (うし)	83,700	9.1	1
寅 (とら)	79,200	8.6	4
卯 (う)	77,400	8.4	5
辰 (たつ)	74,000	8.0	10
巳 (み)	74,300	8.0	9
午 (うま)	71,100	7.7	12
未 (ひつじ)	75,800	8.2	7
申 (さる)	76,000	8.2	6
酉 (とり)	71,600	7.7	11
戌 (いぬ)	75,100	8.1	8
亥 (い)	82,500	8.9	3

図1 十二支別人口



## 辰年生まれでは昭和51年生まれ（48歳）が最も多い

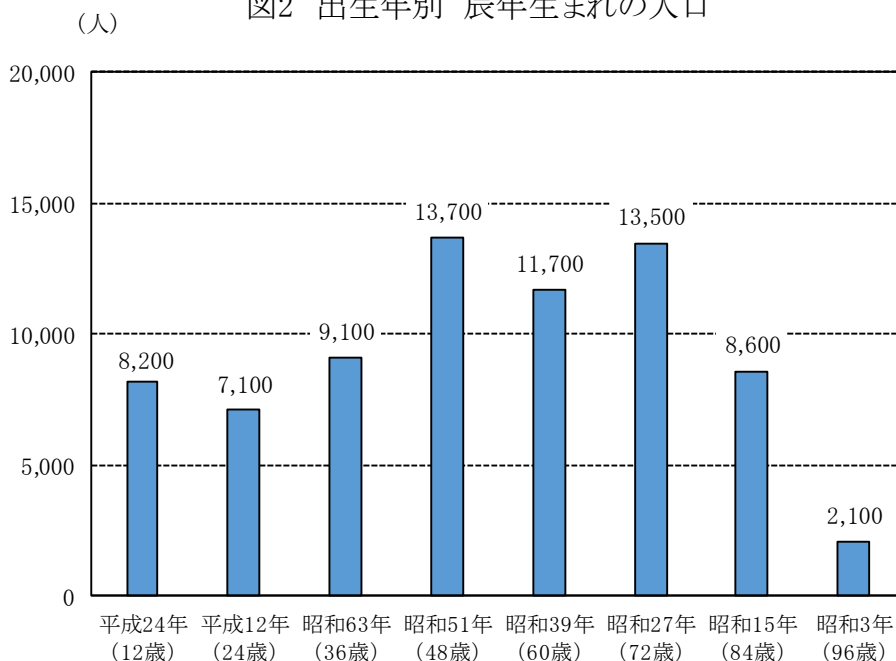
辰年生まれの人口を出生年別にみると、昭和51年生まれ（令和6年中に48歳になる人）が13,700人で最も多く、次いで、昭和27年生まれ（同72歳になる人）が13,500人、昭和39年生まれ（同60歳になる人）が11,700人、昭和63年生まれ（同36歳になる人）が9,100人などとなっています。

また辰年生まれの人口を男女別にみると、男性は35,800人、女性は38,200人となっており、女性が2,400人多くなっています。（表2、図2）

表2 辰年生まれの人口

生まれた年・年齢		男女計 (人)	割合 (%)	男 (人)	割合 (%)	女 (人)	割合 (%)
総数	—	74,000	100.0	35,800	100.0	38,200	100.0
平成24年（2012年）	12歳	8,200	11.1	4,200	11.7	4,000	10.5
平成12年（2000年）	24歳	7,100	9.6	3,800	10.6	3,300	8.6
昭和63年（1988年）	36歳	9,100	12.3	4,700	13.1	4,400	11.5
昭和51年（1976年）	48歳	13,700	18.5	6,900	19.3	6,800	17.8
昭和39年（1964年）	60歳	11,700	15.8	5,700	15.9	6,000	15.7
昭和27年（1952年）	72歳	13,500	18.2	6,400	17.9	7,100	18.6
昭和15年（1940年）	84歳	8,600	11.6	3,600	10.1	5,000	13.1
昭和3年（1928年）	96歳	2,100	2.8	500	1.4	1,600	4.2

図2 出生年別 辰年生まれの人口



### 《取扱上の注意》

- 令和6年の千支別人口は、香川県人口移動調査による令和5年10月1日現在の年齢別人口をもとに、令和6年1月1日現在までの自然動態及び社会動態による年齢別人口増減数を推計して算出したものです。
- 図及び表中の年齢は、令和6年に誕生日を迎えた時の年齢です。
- 千支別人口は、1月1日現在の推計のため、令和6年生まれの辰年の人は含まれません。
- 香川県人口移動調査では100歳以上の各歳別データがないため、100歳以上の辰年生まれの人口は掲載していません。
- 構成比については、四捨五入処理の関係上、全体とその内訳の合計が一致しない場合があります。